

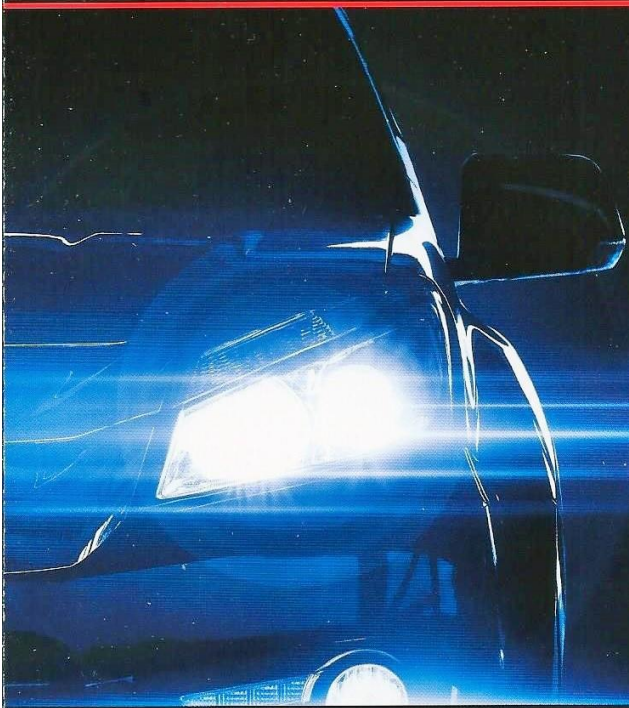
IYASAKA

High Precision

HEAD LIGHT TESTER

ヘッドライトテスタ

画像処理方式 (自動正対式)	ALT-375
画像処理方式 (手動正対式)	HLT-175
画像目視方式 (手動正対式)	HLT-145
スクリーン方式 (手動正対式)	HLT-135



ALT-375
画像処理方式 自動正対式 オプション
CS/IDIS/IDISa 対応



HLT-145
画像目視方式 手動正対式 オプション
CS/IDIS/IDISa 対応



HLT-175
画像処理方式 手動正対式 オプション
CS/IDIS/IDISa 対応

HLT-135
スクリーン方式 手動正対式

High Precision

各種ランプに適用した最新画像処理方式。



ALT-375

押しボタンスイッチによるワンタッチ操作で車両のランプ位置に移動します。受光すると自動でランプ正対後、測定を行います。

LCD 17インチモニタ

前面受光部操作スイッチ

受光部



ランプ取付け高さ
25cm~120cmの測定に対応。
(フォグランプ取付け高さ基準(下限)
25cmに対応。)

25cm

車両正対つまみ

多様なレール形状にも対応する安定性のある新型横行ベース

支柱部操作スイッチ



IYASAKA

支柱部操作スイッチ



HLT-175

手動で横行移動し、電動昇降による上下移動でランプを手動正対後、測定を行います。

LCD 17インチモニタ

前面受光部操作スイッチ

受光部



ランプ取付け高さ

25cm~120cmの測定に対応。
(フォグランプ取付け高さ基準(下限)
25cmに対応。)

25cm

多様なレール形状にも対応する安定性のある新型横行ベース

ALT-375
HLT-175
共通仕様

C-MOSカメラによる画像処理方式で 高精度でスピード測定が実現。

- 測定距離は1m式の省スペース
- 画像処理方式を使用しているため配光映像と測定値(照射方向、光度)を同時に測定
- オリジナル測定ロジックの採用により多様化したランプ(走行灯/すれ違い灯)を精度良く測定
- ランプ正対はC-MOSカメラによるランプ映像、レーザー照射方式(ラインレーザー)の2通りを搭載
- 大型17インチカラーディスプレイに配光パターンをハッキリと明確に表示
- ランプ調整工具の収納に便利なツールフォルダを標準装備
- 「カットライン(斜め線)検出機能」により、すれ違い灯の目視測定が簡単
- 検査ライン(CS/IDIS/IDISα)との連動が可能 ※オプション

操作スイッチ



「画像処理方式」でどんなヘッドランプも 配光を画像で視認が可能。

- LED・HID・プロジェクター・ハロゲンの各種ランプに対応。
- すれ違い(下向き)灯及び走行(上向き)灯を測定。
- フォグランプ(霧灯)測定も対応。
- カラーC-MOSカメラ、オートアイリスレンズの採用でカットラインを鮮明に表示。
- ワイドな測定範囲を実現。
- ランプ取付高さは自動測定で、合否判定も自動化。

クロスラインレーザー
ランプ正対作業が正確かつ容易に行えるレーザー照射器を搭載。

※全機種(ALT-375, HLT-175/145/135)共通



ツールフォルダ
工具類が収納できる便利なツールフォルダ。



すれ違い灯測定 目視モード



測定結果を記憶表示

測定結果を記憶する機能を付加。左右のランプの計測が終了した後に、測定結果画面を呼び出し、測定した数値を確認することができます。





HLT-145



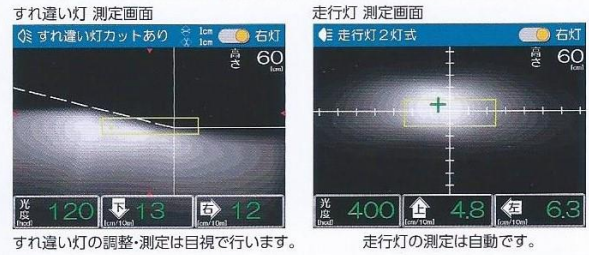
画像目視方式ヘッドライトテスタとは

C-MOSカメラを搭載し、画像処理された配光をLCDへ表示します。すれ違い灯は画像処理された映像を目視で測定を行います。調整時は斜め線検出機能を使いカットラインを正確に合わせることが出来ます。走行灯は画像処理された映像を自動で測定します。検査ライン(CS/IDIS/IDISα)との連動が可能 ※オプション

HLT-145 画像目視測定方式	
すれ違い灯	照射方向 画像処理による目視方式 (LCDに表示されるクロスラインにエルボ点を合わせる) 光度測定点 路面点光度 (ランプ取付高さ 1m以下の場合:ランプ中心に対し左23cm、下11cm) (ランプ取付高さ 1m超の場合:ランプ中心に対し左23cm、下16cm)
走行灯	照射方向 画像処理によるバランス方式(自動測定) 高度測定点 照射方向光度(バランス点光度)

高精度測定で誤差を解消

C-MOSカメラによる画像処理表示により、すれ違い灯及び走行灯の測定が容易に可能。



バッテリーモデル (HLT-145B)

※後付け不可



バッテリーと充電器を本体に内蔵。充電状態をモニターを3パターン表示



HLT-135



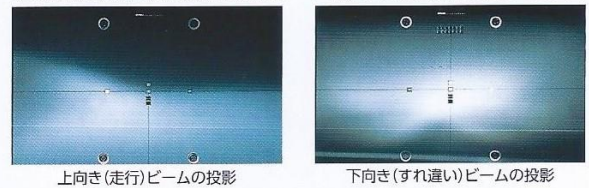
スクリーン方式ヘッドライトテスタとは

すれ違い灯測定時はスクリーンに投影された配光を目視判断する方式です。不鮮明なエルボ点やカットラインの影響をうけず、スクリーン上の配光を見ながら測定・調整ができます。※走行灯はセンサーバランス方式を採用しています。

HLT-135 スクリーン測定方式	
すれ違い灯	照射方向 スクリーンのクロスラインにエルボ点を目視合わせ 光度測定点 路面点光度 (ランプ取付高さ 1m以下の場合:ランプ中心に対し左23cm、下11cm) (ランプ取付高さ 1m超の場合:ランプ中心に対し左23cm、下16cm)

配光投影スクリーンを搭載

ランプ前方10mの配光を鮮明に縮小投影する見やすいスクリーンにより、すれ違い灯(下向き)、走行灯の配光パターン・光度を正確に測定・調整ができます。



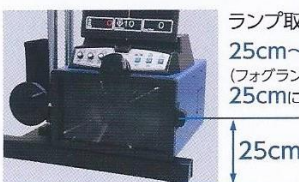
照射方向と光度の同時測定を実現

すれ違い(下向き)灯光度測定は照射方向(エルボ点と光度(路面照射点(絶対位置))の同時測定を実現しました。照射方向の操作部はワンレバー方式を採用していて、操作が簡単です。

HLT-145

HLT-135

共通仕様



ランプ取付け高さ
25cm~120cmの測定に対応、
(フォグランプ取付け高さ基準(下限)
25cmに対応。)

25cm

※写真はHLT-145です。



クロスラインレーザー
ランプ正対作業が正確かつ容易に行えるレーザー照準器を搭載。



ツールフォルダ
工具が収納できる
便利なツールフォルダ。

■主要諸元

商品型式	ALT-375	HLT-175	HLT-145	HLT-135
名称	前照灯試験機			
型式	IDP-5000		HLT-145	HLT-135
型式試験番号 ※1	JASEA-H-46 種別S-10	JASEA-H-46	JASEA-H-44	JASEA-H-38
測定方式	自動式・集光式		自動式・集光式	自動式・集光式
検出方式	画像処理方式(走行灯/すれ違い灯)C-MOSカメラ		画像処理方式(走行灯) 画像目視方式(すれ違い灯)	センサー方式(走行灯) 目視方式(すれ違い灯)
測定距離(m)	1			
光度指示範囲 ※2	走行灯(hcd) すれ違い灯(hcd)	0~1,200 最小1 ※3	0~1,200 最小1 ※3	0~1,200 最小1 ※4 0~800 最小1 ※4
光度測定範囲	走行灯(hcd) すれ違い灯(hcd)	50~1,200 最小1 ※3 50~1,200 最小1 ※3	50~1,200 最小1 ※3	0~1,200 最小1 ※4 50~800 最小1 ※4
測定範囲 走行灯・ すれ違い灯 ※2 (cm/10m)	上 左 — 右 下	20 35 — 35 35	20	40 — 40 40
表示方式	光度計・上下左右計:デジタル			光度計:デジタル/上下左右計:目盛式
ライト取り付け高さ測定範囲(cm)	25~120			
正対機構	車両 前照灯	カメラ式(ラインレーザー) 自動式(C-MOSカメラ)、ラインレーザー	正対用照準器(スコップ) 自動式(C-MOSカメラ)、ラインレーザー	自動式(レーザー照準方式)、ラインレーザー 光学式ランプ映像
水平確認装置	丸型水準器			
距離測定装置	手動(コンベックスルール)			
電源(V)	AC100V 5A 50/60Hz	AC100V 3A 50/60Hz	AC100V 1A 50/60Hz	乾電池(単3×4本)
本体寸法(W×D×H)(mm)	844×740×1,640	740×537×1,388	790×568×1,326	790×570×1,300
本体重量(kg)	約130	約75		約55
標準レール寸法(W×H)(mm)	600×4,500 □型22mm		480×4,500 L型5mm	
標準装備機能	判定表示機能、ランプ取付高さ自動測定機能、目視測定機能 ラインレーザー、前部霧灯測定機能 ※4		判定表示機能、ランプ取付高さ自動測定機能、 目視測定機能、ラインレーザー	目視測定機能、ラインレーザー
標準付属品	副灯カバー、受光部カバー、ツールフォルダ			副灯カバー、受光部カバー、 乾電池(単3×4本)、ツールフォルダ
オプション設定	CS/DIS/DISa表示検査ライン接続(シリアル出力ポート) 増設用RGB出力(外部LCD表示用) メッセージャーワイヤセット		CS/DIS/DISa表示検査ライン接続(シリアル出力ポート) 増設用RGB出力(外部LCD表示用) バッテリー仕様 メッセージャーワイヤセット	

※1 国土交通省の定める自動車検査用機器の技術基準・審査基準に適合。 ※2 精度保証範囲を超える指示値はフラッシングをします。 ※3 光度値が走行灯1,201hcd、すれ違い灯1,201hcdを超えてしまうランプの判定運用(記録簿への記載)については、管轄の運輸支局、整備振興会にご確認ください。 ※4 光度値が走行灯1,201hcd、すれ違い灯801hcdを超えてしまうランプの判定運用(記録簿への記載)については、管轄の運輸支局、整備振興会にご確認ください。 ※5 前部霧灯の判定運用(記録簿への記載)については、管轄の運輸支局、整備振興会にご確認ください。

■専用レール型式・仕様 ★標準

	ALT-375	HLT-175	HLT-145	HLT-135	レール幅	レール形状
HLT-R36-3			●	●	360mm	L型5mm
HLT-R36-5			●	●	360mm	L型3mm
HLT-R42-5		●	●	●	420mm	L型5mm
HLT-R48-5	●	★	★	★	480mm	L型5mm
HLT-FR48-5	●	●	●	●	480mm	LL型5mm
HLT-FR48-22	●	●	●	●	480mm	□型22mm
HLT-R55-V	●	●	●	●	550mm	V型
HLT-R60-5	●	●	●	●	600mm	L型
HLT-R60-22	★	●	●	●	600mm	□型22mm
HLT-R60-22	●	●	●	●	600mm 前後移動式(ストローク600mm)	□型22mm
HLT-R100-22	●	●	●	●	1,000mm 前後移動式(ストローク1000mm)	□型22mm

その他のレール仕様についてはご相談ください。ガリソリスタンド等へ設置の場合はご相談ください。

測定機能について

ALT-375・HLT-175は令和1年8月、HLT-145は平成29年7月、HLT-135は平成25年5月に型式試験番号を取得したものであり、それ以降に市場で流通される前照灯(国内外含む)は、測定出来ない恐れがあります。

下向き測定機能について

1. カットライン水平部の配光がぼやけていたり、傾いていたり、凹凸があるランプ及び立ち上がり部の配光が特殊なランプは正しく測定できない場合があります。
2. カットラインの無い配光のランプは、カット無しモード(上向き測定機能)で測定します。
3. 右側通行用のランプは測定できません。

※本仕様・形状等は改良のため、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。



安全に関するご注意

●ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

株式会社 **イヤサカ**

本社 / 〒113-0034 東京都文京区湯島3-26-9
TEL.03-3833-6110 FAX.03-5688-7074
http://www.iyasaka.co.jp

- 札幌支店 〒003-0873 札幌市白石区米里3条2-1-5 ☎(011)875-7100 代
- 仙台支店 〒983-0835 仙台市宮城野区大槻10-23 ☎(022)257-3251 代
- 東京支店 〒113-0034 東京都文京区湯島3-26-9 ☎(03)3833-6116 代
- 関東支店 〒331-0046 さいたま市西区宮前町503-1 ☎(048)624-3257 代
- 名古屋支店 〒460-0012 名古屋市中区千代田5-14-28 ☎(052)251-5831 代
- 大阪支店 〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町4-3-6 ☎(06)6251-8581 代
- 広島支店 〒739-0323 広島市安芸区中野東2-4-31 ☎(082)892-0391 代
- 福岡支店 〒812-0871 福岡市博多区東雲町4-3-8 ☎(092)581-8480 代
- 本社営業部 〒113-0034 東京都文京区湯島3-26-9 ☎(03)3833-6114 代